

# Discovery



Winter  
2021

株式会社日吉 vol.23

info@hiyoshi-es.co.jp

www.hiyoshi-es.co.jp/



本社:〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908 TEL(0748)32-5111(代) FAX(0748)32-3339 / 東京支店:〒107-0052 東京都港区赤坂9-1-7 TEL(03)5772-6073(代)

## 海外貢献

### 日本企業として7社目 日吉寄附講座をインドとオンラインで開催 2021.11.10～11.16



日本・インドの両政府が進める、製造業分野の人材育成を目的とした「ものづくり技能移転推進プログラム」に基づきインド国内の大学への寄附講座として経済産業省より認定を受けた「日吉寄附講座」を、インドのDr. M.G.R大学にて2021年11月10日から2021年11月16日までの6日間行いました。

「インド国内の大学寄附講座 (Japanese Endowed Courses : JEC)」は、将来的にエンジニアとして活躍が期待される人材を育成する講座として、経済産業省が認定するものです。

このたび、株式会社日吉が経済産業省より本事業に認定を受けたのは7社目ですが、サービス産業としては初。これは、当社が課題としている、ものづくりと同時に発生する環境への負荷の対応に、ものづくり企業における環境人材育成の機会にしたい、またものづくりの現場や経営の場において、環境に配慮した方針策定や積極的な行動を推進したい、という考えから実現しました。

6日間の寄附講座では、Dr. M.G.R大学の最終学年の学生10名が参加。日本の環境概論、インドと日本の環境法令・排水処理概論、原理・運用・保守の必要性、分析の原理、測定方法、評価方法、実習等について、座学はオンラインで、実践的な現場教育は現地法人である日吉インドアによりDr. M.G.Rの実験室と生活排水処理施設現場で行われました。

6日間の講座は大変好評で、学生らの考え方に大きな影響を与えることができ、十分な手ごたえを感じました。将来彼らが企業や行政において環境対策に取り組むリーダーとなる人材となることを期待しています。

## 協定締結・賛同宣言

### 近江八幡市と日吉他 協定を締結

～災害及び感染症発生時における一般廃棄物収集運搬等の支援～

2021.9.1



近江八幡市と日吉他企業は、「災害及び感染症発生時における一般廃棄物収集運搬等の支援に関する協定書」を締結しました。

災害及び感染症の発生において近江八幡市の支援要請があった場合に日吉他協定企業が一般廃棄物の収集運搬を迅速かつ円滑に実施することで、被災地の早期復旧や市民の生活環境の保全を図ります。

集運搬を迅速かつ円滑に実施することで、被災地の早期復旧や市民の生活環境の保全を図ります。

### “びわ湖版SDGs”

### マザーレイクゴールズ (MLGs) へ賛同宣言

2021.7.1

「びわ湖の日」40周年の日にマザーレイクゴールズ賛同者会議が開催され「MLGsアジェンダ」が承認されました。琵琶湖版のSDGsとして、2030年の環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築に向け、琵琶湖を切り口として独自に13のゴールを設定しています。

日吉はいち早く本取り組みに賛同し、また市民代表 (民間) として推進委員としても活動に参加しています。これまで琵琶湖と長く、深く関わってきた企業としてSDGsのみならずMLGsの取り組みについても情報発信していきたいと思ひます。



# 学会論文

題目	発表者	会議/雑誌	日付
バスタ液剤を用いたオオバナミズキンバイの駆除について（現地試験検証）	北島 隆、近藤 昭宏、林 賢一、川崎 悦子、築山 直弘	第51回滋賀県公衆衛生学会	2021/02/18
バスタ液剤を用いたナガエツルノゲイトウ駆除手法の検討	北島 隆	第51回滋賀県公衆衛生学会	2021/02/18
下水および尿からの新型コロナウイルスの検出手法の検証	近藤 昭宏、藤井 明美、近野 真央、中村 昌文、西村 耕造、林 賢一	第51回滋賀県公衆衛生学会	2021/02/18
CALUX Bioassay analysis of PCDD/Fs and dioxinlike PCBs in Bovine milk and Municipal dumping site Ash samples from Indian environment	Murugasamy Mayilsamy, Seethappan Sangeetha, Masafumi Nakamura, Shunkei Ko, Muthusamy Govarthanam, Vimalkumar Krishnamoorthi	Research Square	2021/04/26
さまざまな環境におけるクラスIIdバクテリオシソ産生Virgibacillusalexigensの分布	大町 一実、寺原 猛、二見 邦彦、川戸 智氏、今田 千秋、亀井 加恵子、和久 友則、近藤 昭宏、長沼 毅、Tri Winarni Agustini、小林 武	World Journal of Microbiology and Biotechnology	2021/08/06
西の湖湖心と各流入点における植物プランクトン相の季節変遷	阪井 俊夫、築山 直弘、吉田 和弘、横山 幹朗、一瀬 諭	日本水処理生物学会第57回大会	2021/10/29
西の湖における植物プランクトンと栄養塩類等の関係性	築山 直弘、阪井 俊夫、吉田 和弘、横山 幹朗、一瀬 諭	日本水処理生物学会第57回大会	2021/10/29
環境DNA解析を用いたチャネルキャットフィッシュの生息調査	近野 真央、藤井 明美、近藤 昭宏、中村 昌文、石崎 大介、田口 貴史、岡本 晴夫、山中 裕樹	環境DNA学会	2021/11/20

# 社会貢献



## 環境研修会2021をオンラインで開催 2021.8.7

「子どもたちが身近にある環境問題を理解し、今できることを考える」を目的として、例年日吉では環境研修会と題し、地域の小学生を対象に開催しています。昨年は新型コロナの影響により開催を断念しましたが、今年は新たな試みとしてオンラインで開催しました。

今年度は「水をキレイにしてみよう！」をテーマに、凝集試験のデモンストレーションを交えながら、浄水場や下水処理施設の機能の解説と水資源の貴重さを訴える内容でした。琵琶湖を例にとり、水循環の仕組みと日吉の技術の関わりや、これらの仕組みがうまく機能しないと、感染症の拡大や水環境の富栄養化につながることを問題提起しています。

このような機会は必ず子どもたちにとって良い経験となると信じ、今後も次世代育成に取り組みます。



## 表彰

### 環境省 第9回グッドライフアワード 実行委員会特別賞 子どもエンパワーメント賞を受賞 2021.12.4

環境省主催「第9回グッドライフアワード」で実行委員会特別賞（子どもエンパワーメント賞）を受賞しました。地域の小学生を対象に「環境研修会」を実施、身近なものを使って実験を行い自分事として今の自分に何ができるかを考え、琵琶湖の環境問題に対する関心を高める取り組みを行うなど、「四方よし」の環境保全技術を活かした次世代教育が評価されました。



### EcoVadis社サステナビリティ調査「ブロンズ」評価を獲得

EcoVadis社（本社：フランス）による2021年のサステナビリティ調査において、「ブロンズ」評価を獲得しました。

これまで世界160カ国、200業種、75,000以上の団体・企業を独自のCSR評価システムにより評価されています。今回日吉は、「環境への取

組み」として有害・非有害廃棄物総発生量の報告をはじめとする持続可能な開発目標（SDGs）に向けた進捗状況の公表や、「労働と人権」において勤務形態の柔軟性や研修を通じた差別・ハラスメントへの理解によるダイバーシティ推奨を高く評価され、「ブロンズ」の評価をいただきました。

### 厚生労働省 令和3年統計功績者表彰を受領

厚生労働大臣より統計調査の指定事業所として正確かつ迅速な報告につとめたとして表彰されました。



### 環境省 産業廃棄物業務の功績へ大臣表彰

常務取締役 西野信司が環境省より多年に渡り産業廃棄物関係事業に従事し循環型社会形成の推進に寄与したとして大臣表彰されました。



### 滋賀県職業能力開発協会より令和3年度前期技能競技大会成績優秀者表彰

同上協会より、令和3年度前期技能競技大会成績優秀者表彰で以下2名の社員が表彰されました。

- 知事表彰 技術部 分析研究課 山本 太郎社員（二級化学分析化学分析作業）
- 協会表彰 技術部 分析研究課 山本 紘史社員（二級化学分析化学分析作業）



- 用紙：琵琶湖の環境保全活動を支援する寄付金付びわ湖環境ペーパー 適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
- 印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
- 製造・廃棄に発生するCO<sub>2</sub>を滋賀県内の排出削減事業者のクレジットによりカーボンオフセット済
- CO<sub>2</sub>排出量：245kg/3,000枚